

■芸術監督からのメッセージ

城崎国際アートセンターも開館三年目を迎え、より安定した運営が行えるようになりました。地域での理解も広がり、公開リハーサルやワークショップには多くのお客様に訪れていただいています。

演劇、ダンスが中心のレジデンス施設ですが、四年目、2017年度の滞在アーティストの募集にあたっては、国内外から、より幅広い分野の皆さんに応募していただけることを願っています。

また、地域交流プログラムは、アーティストの特性に合ったものを期待しております。この施設は、何よりも **Artist First**=芸術性を最優先します。短期的な成果も問いません。作品の構想段階でも、施設の利用が可能です。その前提のうえで、もしも何か、少しでも地域に還元していただけるものがあれば、とてもありがたいです。

作品の創作過程も、地域交流の在り方もけっして一つではありません。是非、皆さんの豊かな発想で、新しいアートセンターの使い方を提示してください。

平田オリザ（城崎国際アートセンター 芸術監督）